

テレビ国際放送の充実強化への取組

総務省

○ 平成26年度補正予算～要請放送交付金

テレビ国際放送 3.9億円

① 多言語化の実証、② NHKワールドTVのプロモーション活動

○ 平成27年度当初予算～要請放送交付金

テレビ国際放送 25.8億円(0.9億円増(受信環境整備))

(ラジオ国際放送 9.6億円)

○ 平成27年度補正予算～要請放送交付金

テレビ国際放送 1.0億円

(多言語化の実証)

・多言語化の実現に向けた英語以外の言語による実証(平成26年度補正予算により平成27年7月6日から実施した放送を延長し本年9月まで実施。10月以降もNHKが自主的に継続。)

【多言語化の実証】
(スペイン語字幕付与のイメージ)



○ 平成28年度当初予算～要請放送交付金

テレビ国際放送 25.8億円、ラジオ国際放送 9.6億円

○ 平成29年度予算(要求額)～要請放送交付金

テレビ国際放送 25.8億円、ラジオ国際放送 9.6億円

○ 平成28年度NHK予算総務大臣意見

2 国際放送の充実等による総合的な海外情報発信の強化

- 現在、我が国の重要な政策及び国際問題に対する公的見解並びに我が国の経済・社会・地域及び文化の動向や実情を正しく伝えることがこれまで以上に重要になっていることを踏まえ、我が国に対する正しい認識・理解・関心を培い、普及させるとともに、国際交流・親善の増進、経済交流の発展、地方の創生の推進等に資するよう国際放送のより一層の充実・強化を図ること。
- 特に、テレビ国際放送の「NHKワールドTV」については、引き続き、「NHK海外情報発信強化に関する検討会 中間報告」(平成27年1月30日)を参考に、協会の国際放送子会社の強化や海外事業者との連携を通じた効果的な実施体制の確立、多言語化の取組も含めたインターネットの適切な活用、国内外の受信環境の一層の整備等の取組を、世界各地のニーズや視聴実態をよく把握しつつ効果的かつ積極的に推進すること。その際、これらの取組の成果となる認知度等について、世界の国際放送の中で協会の占める位置が分かるような具体的指標を設定の上、PDCAサイクルを強化するよう努めること。

NHK(NHKワールドTV)(平成28年度の取組予定)

○ 平成28年度国際放送関係予算

テレビ国際放送 236.7億円(23.2億円増)

(ラジオ国際放送 65.5億円(0.3億円減))

○ 放送番組の充実

① ニュースの充実と平日夜間の強化

(国内外からのレポート・解説の増強や、大型ニュース番組に続く時間帯にインタビュー番組を新設)

② 国内放送との連携の強化

(大型ドキュメンタリー番組や地域放送局制作番組の海外発信)

③ 日本への関心を高める番組の新設

(外国人にまだ知られていない地域の観光情報番組や日本文化を楽しみながら日本語学習できる番組を新設。)

○ 受信環境整備

北米、アジアの重点地域で、より視聴しやすい配信手段を確保

○ プロモーション活動の推進

- ・ 重点都市ニューヨークで年間を通してプロモーションを集中展開
- ・ ツイッターやフェイスブックなどSNSを活用した情報発信の強化 等

○ インターネットの活用

- ・ ビデオ・オン・デマンド(VOD)配信番組の増加(13→27番組)
- ・ VOD視聴可能端末の拡充
- ・ 17言語により、テキスト・音声ニュースを提供 等

NHKの国際放送の概要

- ・ NHKは、国際放送を必須業務として実施(放送法第20条第1項第4号及び第5号)。
- ・ ラジオ国際放送は、昭和10年6月に放送開始。テレビ国際放送は、平成7年4月に放送開始。

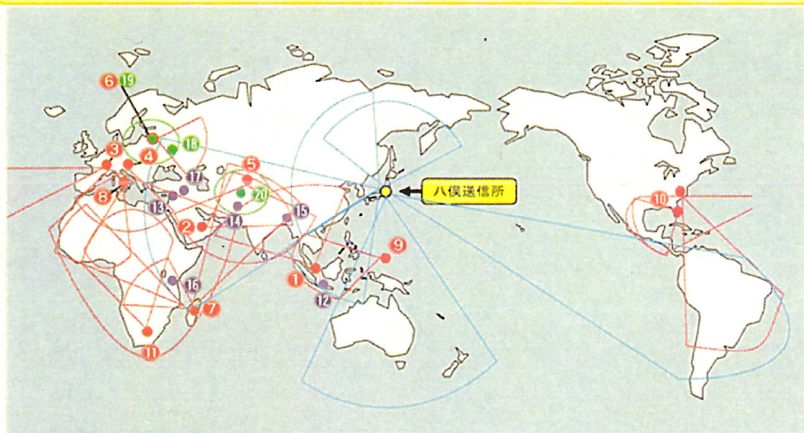
ラジオ国際放送

「NHKワールド・ラジオ日本」

- 全世界に向けて、18言語で放送
 - ※ 八俣送信所(茨城県)から直接送信を行うとともに、海外の21か所の送信施設を利用して中継送信を実施
- 平成28年度NHK予算額: 65.5億円

要請放送

- ・ 総務大臣は、NHKに対し、放送区域、放送事項その他必要な事項を指定して国際放送等を行うことを要請することができる。
- ・ 放送法の規定に基づき、要請放送実施に要する費用は、国として予算計上。(平成28年度予算: テレビ:25.8億円、ラジオ:9.6億円)



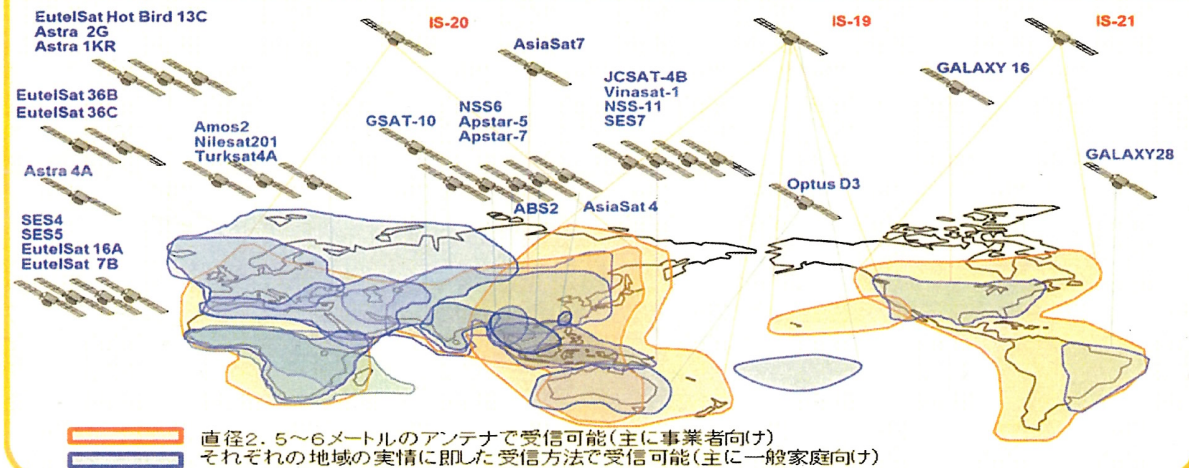
短波	① シンガポール中継局	⑫ インドネシア中継局 (ジャカルタ他)
	② ダバヤク中継局	⑬ ヨルダン/川西岸中継局 (ラマラ他)
	③ フランス中継局	⑭ アフガニスタン中継局 (カブール他)
	④ ドイツ中継局	⑮ ハンクラテシュ中継局 (ダッカ他)
	⑤ ウズベキスタン中継局	⑯ タンザニア中継局 (ダルエスサラーム他)
	⑥ リトアニア中継局	⑰ イラク中継局(バグダッド他)
	⑦ マダガスカル中継局	⑱ モスクワ中継局
	⑧ パチガン中継局	⑲ リトアニア中継局
	⑨ パラオ中継局	⑳ タジキスタン中継局
	⑩ アメリカ中継局	
	⑪ 南アフリカ中継局	

(⑯と⑲は同じ)

テレビ国際放送

「NHKワールドTV」(外国人向け)

- 日本やアジア、世界の最新情報と多彩な番組を、1日24時間世界に向けて英語で放送
 - ※ 衛星やケーブルテレビを通じて約150か国・地域、約2.1億世帯で24時間視聴可能
- 平成28年度NHK予算額: 236.7億円
 - ※ NHKワールド プレミアム分を含む



「NHKワールド・プレミアム」(邦人向け)

- 在留邦人向けの日本語放送
- NHKのニュース・情報番組に加え、娯楽番組、子供向け番組、スポーツ、文化・芸能などさまざまな番組を配信

NHKワールドTVの視聴エリア・可能世帯の推移

	視聴エリア（国・地域）	視聴可能世帯※
平成20年3月末	4	655万
平成21年3月末	80	1億1,000万
平成22年3月末	120	1億2,500万
平成23年3月末	120	1億3,655万
平成24年3月末	130	1億5,405万
平成25年3月末	130	1億5,972万
平成26年3月末	140	1億9,142万
平成27年3月末	150	2億0,258万
平成28年3月末	150	2億0,901万
〔 平成28年9月末	150	2億1,842万 〕

※ 24時間視聴可能。なお、北米などで約7,300万世帯（平成28年9月末現在）が一部視聴可能。

平成28年度における国際放送実施要請の概要

1 制度の概要

(1) 総務大臣は、NHKに対し、放送区域、放送事項その他必要な事項を指定して国際放送を行うことを要請することができる。

○放送法

(国際放送の実施の要請等)

第65条 総務大臣は、協会に対し、放送区域、放送事項(邦人の生命、身体及び財産の保護に係る事項、国の重要な政策に係る事項、国の文化、伝統及び社会経済に係る重要事項その他の国の重要事項に係るものに限る。)その他必要な事項を指定して国際放送又は協会国際衛星放送を行うことを要請することができる。

2 総務大臣は、前項の要請をする場合には、協会の放送番組の編集の自由に配慮しなければならない。

3 協会は、総務大臣から第1項の要請があつたときは、これに応じるよう努めるものとする。

(国際放送等の費用負担)

第67条 第65条第1項の要請に応じて協会が行う国際放送又は協会国際衛星放送に要する費用及び前条第1項の命令を受けて協会が行う研究に要する費用は、国の負担とする。

2 第65条第1項の要請及び前条第1項の命令は、前項の規定により国が負担する金額が国会の議決を経た予算の金額を超えない範囲内で行わなければならない。

(2) 放送法第67条の規定に基づき、要請放送実施に要する費用は、国として予算計上。

※ 平成28年度予算は、テレビ:約25.8億円、ラジオ:約9.6億円。合計約35.4億円(前年度同額)。

2 要請内容

○テレビ国際放送

次の事項を指定して、外国人向けテレビ国際放送の実施を要請。

①放送事項: 次の事項に係る報道及び解説。

ア 邦人の生命、身体及び財産の保護に係る事項

イ 国の重要な政策に係る事項

ウ 国の文化、伝統及び社会経済に係る重要事項

エ その他国の重要事項

②対象言語: 英語のほか、他の言語を併せ用いることができる。

③放送区域: 北米、中南米、欧州、中東、アフリカ、アジア及び大洋州

⇒以下の点について追記

①現地の視聴実態をよく把握すること。

②放送と連携したインターネットの適切な活用を図ること。

○ラジオ国際放送

次の事項を指定して、邦人向け及び外国人向けラジオ国際放送の実施を要請。

①放送事項: (1) 次の事項に係る報道及び解説。

(テレビ国際放送のア～エと同じ。)

(2) 上記事項の放送に当たっては、北朝鮮による日本人拉致問題に特に留意すること。

②対象言語: 日本語・中国語・朝鮮語の3言語。

③放送区域: 中米、南米、中東・北アフリカ、アフリカ、極東ロシア、アジア大陸(北部)、アジア大陸(中部)、アジア大陸(南部)、東アジア、朝鮮、東南アジア、フィリピン・インドネシア、南西アジア及び豪州・ニュージーランド

NHKの国際放送関係経費と交付額の推移(過去10年間)

(単位:億円)

年度	ラジオ国際放送関係経費		テレビ国際放送関係経費		合計	
	NHK総額	うち交付金	NHK総額	うち交付金	NHK総額	うち交付金
19	72.1	21.6	48.1	3.0	120	24.6
20	74.0	18.1	76.3	15.2	150	33.3
21	62.4	10.5	105.2	24.5	167	35.0
22	62.1	9.5	113.2	24.5	175	34.0
23	60.2	9.5	116.5	24.5	176	34.0
24	60.6	9.5	127.5	24.5	188	34.0
25	62.3	9.5	142.7	24.5	205	34.0
25補正	—	—	—	5.0	—	5.0
26	60.3	9.6	156.7	24.9	217	34.5
26補正	—	—	—	3.9	—	3.9
27	64.0	9.6	214.0	25.8	278	35.4
27補正	—	—	—	1.0	—	1.0
28	65.5	9.6	236.7	25.8	302	35.4

※ 平成27年度までは決算額、平成27年度補正及び平成28年度は予算額。

※ NHK総額については切り捨て、交付金額については四捨五入。

※ 平成25年度決算額及び平成26年度決算額(NHK総額部分)には平成25年度補正予算の交付金(5億円)、平成27年度決算額(NHK総額部分)には平成26年度補正予算の交付金(3.9億円)が含まれている。

※ NHK総額については、平成23年度までは税込金額であるが、平成24年度からは税抜金額となっている。

NHKワールドTVの番組構成

- ・ NHKワールドTVでは、1時間のうち前半(月～金30分、土日10分)は「NHK NEWSLINE」、後半は音楽、旅行、ライフスタイルなどを含む文化・情報やドキュメンタリー、科学等の番組を放送。
- ・ 6時間をひとつの単位として番組編成を行い、1日4回繰り返して放送。
- ・ 平成28年度から定時ニュース番組「NEWSLINE」をリニューアル。平日夜の強化のため、インタビュー番組「Direct Talk」を新設。

番組表(イメージ)

8	30	NHK NEWSLINE
		Journeys in Japan
9	30	NHK NEWSLINE
		TOKYO FASHION EXPRESS
10	30	NHK NEWSLINE
		Asia Insight
11	30	NHK NEWSLINE
		J-Trip Plan
12	30	NHK NEWSLINE
		Biz Buzz Japan
13	30	NHK NEWSLINE
		SPORTS JAPAN

×4/日

＜主な番組＞



・NHK NEWSLINE
毎日生放送されているニュース番組。番組名を「NEWSLINE」から変更し、リポートや解説を充実。
※内容は毎正時更新



・J-Trip Plan
2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、東京や京都だけでなく日本各地の魅力を発信。



・Biz Buzz Japan
日本のビジネスの最前線を、その分野の第一線で活躍する人たちの解説などを交えて伝える。



・SPORTS JAPAN
大相撲、柔道、剣道からラジオ体操まで、“日本ならではのスポーツ文化”を様々な切り口で紹介するスポーツ情報番組。

＜平日夜の大型ニュース番組等＞



・NEWSROOM TOKYO
日本とアジアの1日の動きを、現場からの中継やリポートを中心に、専門家や取材記者の解説を交え、深く分かりやすく伝える大型ニュース番組。



・Direct Talk
日本国内のビジネスリーダー、科学技術、文化、スポーツなど様々な分野のキーパーソンのほか、世界各地で活躍する旬の人にインタビューし、世界が注目する人たちのメッセージを発信。「NEWSROOM TOKYO」と連続して編成。

＜大型討論番組＞



・GLOBAL AGENDA
世界のオピニオンリーダーによる討論を通じて、国際政治・経済から環境問題など、幅広いテーマで日本と世界が直面する課題の解決に向けた提言を行う大型討論番組。月1回程度放送。